平成23年度 財政状況資料集

総括表(市町村)

								指定団体等	のお中代に		区分	平成23年度(千円)	平成22年度(千円)	区分	平成23年度(千円・%)	平成22年度(千円・%)
	都道府県名	2	炭城県	市町	村類型	П-	- O	旧足凹件寺	仍相连认为	歳入総額		17, 299, 382	17, 659, 351	実質収支比率	7.7	5. 8
								財政健全化等	×	歳出総額		16, 333, 232	17, 009, 398	経常収支比率	91. 9	89. 4
								財源超過	×	歳入歳出き	閉	966, 150	649, 953	(※1)	(100.5)	(99.1)
	市町村名	爺	吉城市	地方交	付税種地	1-	-3	首都	0	翌年度に総	越すべき財源	168, 049	38, 612	標準財政規模	10, 420, 172	10, 490, 654
								近畿	×	実質収支		798, 101	611, 341	財政力指数	0. 69	0. 71
		22年国調(人)	52, 494		*	業構造 (※5)		中部	×	単年度収支		186, 760	-23, 903	公債費負担比率	14. 7	14. 4
	人口	17年国調(人)	52, 460	1	座	表情垣(※3)		過疎	×	積立金		155, 057	488, 903	健全化判断比率		
		増減率 (%)	0. 1	Σ	区分	22年国調	17年国調	山振	×	繰上償還金	ì	-	-	実質赤字比率	-	_
		24. 03. 31 (人)	51, 732		11次	2, 026	2, 411	低開発	×	積立金取前	し額	79, 000	-	連結実質赤字比率	-	-
住	民基本台帳人口	23.03.31(人)	52, 022	弗	31次	7. 9	8.8	指数表選定	0	実質単年度	収支	262, 817	465, 000	実質公債費比率	13. 8	15. 1
		増減率 (%)	-0. 6	***	52次	9, 764	10, 383			基準財政収	l 入額	5, 489, 163	5, 325, 329	将来負担比率	84. 7	99. 7
	面積(k㎡)		65. 84	弗	32次	38. 2	37. 9			基準財政需	要額	7, 979, 399	7, 924, 456	資金不足比率(※4)		
八	口密度(人/k㎡)		797	***	[3次	13, 801	14, 506			標準税収入	、額等	7, 014, 196	6, 823, 104			
t	世帯数 (世帯)		17, 466	弗	33次	53. 9	52. 9			経常経費充	当一般財源等	9, 852, 925	9, 804, 268			
				職員	員の状況			•		歳入一般則	 排源等	12, 758, 551	12, 956, 092			
	区分	定数	1人あたり平均 給料月額(百円)			区分	職員数	給料月額 (百円)	1人あたり平均 給料月額(百円)	地方債現在	- 直	16, 372, 034	16, 839, 652			
	市区町村長	1	8, 100		一般職員	1	311	969, 698	3, 118	つち公的		11, 532, 126	11, 498, 706			
特	副市区町村長	1	6, 400	-		· 斯職員	311	303, 030	0,110		「為額(支出予定額)	1, 061, 657	1, 144, 231	1		
別	教育長	1	6, 000	般職		t能労務職員	7	24, 864	3 552	収益事業収		- 1,001,007	1, 144, 201			
職等	議会議長	1	4, 180	員	教育公務		5	19, 171		土地開発基		_	_			
••	議会副議長	1	3, 750	等	臨時職員			-	0,004	工心所儿母	財政調整基金	1, 272, 585	1, 196, 528	1		
	議会議員	17		-	合計	•	316	988, 869	3, 129	積立金	減債基金	498, 886	331, 603			
	DEC 34 DEC 94	.,	0,010	_		レス指数(※6)		105. 5	(97. 4)	現在高	その他特定目的基金	1, 702, 685	1, 545, 420			
一般: 項番	会計等の一覧 : 会	会計名	事業: 項番	会計の一	覧	会計名		公営企業 (法適) 項番	の一覧 会計名		公営企業(法非適)の一覧 項番 会	^⑤ ὲ計名	関係する一部事務組 項番	 合等一覧 地方公社・第 組合等名 項番	- 三セクター等一覧 団体名	(※3)

項		項番	会計名	項番		会計名
(1)	一般会計	(4)	国民健康保険特別会計	(8)	水道事業会計	
(2)	公共用地先行取得事業特別会計	(5)	介護保険特別会計(介護保険事業勘定)			
(3)	住宅資金等貸付事業特別会計	(6)	介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)			
		(7)	後期高齡者医療特別会計			

項番 会計名 (9) 公共下水道事業特別会計

(10) 農業集落排水事業特別会計

(15) 筑西広域市町村圏事務組合 (一般会計)

(16) 筑西広域市町村圏事務組合 (筑西ふるさと市町村圏特別会計)

(22) 結城市文化・スポーツ振興事業団

0

(23) 結城市土地開発公社

(24) TMO結城

(11) 下館·結城都市計画事業結城南部第一土地区画 整理事業特別会計 (17) 茨城県市町村総合事務組合 (一般会計)

(12) 下館・結城都市計画事業結城南部第二土地区画 整理事業特別会計 (18) 茨城県市町村総合事務組合 (県民交通災害共済事業特別会計)

(13) 下館・結城都市計画事業結城南部第三土地区画 整理事業特別会計 (19) 茨城租税債権管理機構

(14) 下館·結城都市計画事業結城南部第四土地区画 整理事業特別会計

(20) 茨城県後期高齢者医療広域連合 (一般会計)

(21) 茨城県後期高齢者医療広域連合 (後期高齢者医療特別会計)

(注釈) ※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補塡債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。

(1) 華通合計の状況(市町村)

歳入の	状況(単位 千円	• %)			地方税の状況(単位 千円・%)							
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分				
地方税	6, 811, 991	39. 4	6, 445, 901	65. 7	普通税	6, 445, 901	94. 6	110, 262				
地方譲与税	234, 763	1.4	234, 763	2. 4	法定普通税	6, 445, 901	94. 6	110, 262				
利子割交付金	14, 197	0.1	14, 197	0. 1	市町村民税	2, 921, 797	42. 9	110, 262				
配当割交付金	9, 899	0.1	9, 899	0. 1	個人均等割	76, 447	1.1					
株式等譲渡所得割交付金	3, 579	0.0	3, 579	0.0	所得割	2, 171, 975	31. 9					
地方消費税交付金	471, 583	2. 7	471, 583	4. 8	法人均等割	189, 623	2. 8	31, 511				
ゴルフ場利用税交付金	4, 396	0.0	4, 396	0.0	法人税割	483, 752	7. 1	78, 751				
特別地方消費税交付金	_	_	_	_	固定資産税	3, 000, 975	44. 1					
自動車取得税交付金	43, 850	0.3	43, 850	0.4	うち純固定資産税	2, 994, 319	44. 0					
経油引取税交付金	_	_	_	_	軽自動車税	95, 894	1.4					
地方特例交付金	67, 598	0.4	67, 598	0.7	市町村たばこ税	427, 235	6.3					
児童手当及び子ども手当特例交付金	21, 801	0.1	21, 801	0. 2	鉱産税		_					
減収補塡特例交付金	45, 797	0.3	45, 797	0.5	特別土地保有税	_	-					
地方交付税	3, 134, 207	18. 1	2, 490, 236	25. 4	法定外普通税	_	-					
普通交付税	2, 490, 236	14. 4	2, 490, 236	25. 4	目的税	366, 090	5.4					
特別交付税	379, 017	2. 2			法定目的税	366, 090	5.4					
震災復興特別交付税	264, 954	1. 5	_	_	入湯税	_						
(一般財源計)	10, 796, 063	62. 4	9, 786, 002	99.8	事業所税	_	_					
交通安全対策特別交付金	7, 222	0.0	7, 222	0. 1	都市計画税	366, 090	5.4					
分担金・負担金	229, 597	1. 3		_	水利地益税等	_						
支用料	132, 616	0.8	10, 535	0.1	法定外目的税	_	_					
手数料	32, 997	0. 2	-	_	旧法による税	_	_					
国庫支出金	2, 322, 921	13. 4	_	_	合計	6, 811, 991	100.0	110, 262				
国有提供交付金(特別区財調交付金)	_,,	-	_	_				,				
都道府県支出金	1, 235, 702	7. 1	_	_	区分	平成23年度	 	平成22年度				
財産収入	79, 989	0.5	2, 842	0.0		97. 6	91.0	96.8 89.2				
寄附金	2, 848	0.0	,		徴収率 現 = = = + = = = + = = = + = = = + = = + =	97. 8	91. 8	97. 1 89. 5				
操入金	131, 000	0.8	_	_	(%) 年 計 中町村氏税 純固定資産税	97. 1	89. 4	96. 2 87. 9				
^未	649, 953	3. 8	_	_	—— 神間之気圧抗	1 -7						
諸収入	499, 174	2. 9	582	0.0	公営事業等への繰出	国民健康	康保険事業会 詞	†の状況				
地方債	1, 179, 300	6.8	-		合計 2, 115, 327	実質収支		171, 438				
うち減収補塡債(特例分)	-, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-	_	_	下水道 583,454			126, 708				
うち臨時財政対策債	915, 700	5. 3	_	_	宅地造成 293,901	加入世帯数(世帯))	9, 005				
歳入合計	17, 299, 382	100.0	9, 807, 183	100.0	上水道 10,970			18, 071				
	,, 502		., ,		工業用水道	CIRR	競税(料)収入額					
					国民健康保険 355, 139	微体陕石 🖂	支出金	82				
					その他 871,863		-	209				
注					0717000	Chris	**************************************					

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

			位 千円・%)			
	目的別歳		(単位 千円・%)	5 = 0. = 10. = 10. = 10.	//\ o > + +	- 1/2 - 60 01.75 65
区分	決算額(A)	構成比	(A) のうち普通建	[設事業費	(A)のうち充	
議会費	235, 566	1.4		57. 477		235, 566
総務費	2, 331, 279	14. 3				2, 056, 980
民生費	5, 498, 569	33. 7		17, 616		2, 482, 950
衛生費	1, 110, 898	6.8		26, 640		1, 029, 814
労働費	123, 675	0.8				5, 931
農林水産業費	441, 827	2. 7		116, 125		334, 929
商工費	187, 037	1.1		31, 680		172, 590
土木費	1, 994, 183	12. 2		607, 686		1, 525, 066
消防費	674, 851	4. 1		17, 052		661, 652
教育費	1, 440, 927	8.8		174, 577		1, 089, 018
災害復旧費	375, 189	2. 3		-		326, 614
公債費	1, 919, 231	11.8		-		1, 871, 291
諸支出費	-	-		-		-
前年度繰上充用金	-	-		-		-
歳出合計	16, 333, 232	100.0		1, 048, 853		11, 792, 401
- 2	性質別歳		(単位 千円・%)	Arrall Arrath -	40.01.05.44	(# M
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充	当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	8, 120, 653	49.7	5, 423, 904		5, 371, 425	50. 1
人件費	2, 771, 610	17. 0	2, 649, 229		2, 597, 645	24. 2
うち職員給	1, 685, 381	10.3	1, 587, 694			
扶助費	3, 429, 817	21.0	903, 389		902, 494	8. 4
公債費	1, 919, 226	11.8	1, 871, 286		1, 871, 286	17. 5
元利償還金	1, 919, 226	11.8	1, 871, 286		1, 871, 286	17. 5
内 うち元金	1, 646, 918	10. 1	1, 607, 507		1, 607, 507	15. 0
訳 うち利子	272, 308	1.7	263, 779		263, 779	2. 5
一時借入金利子					-	
その他の経費	6, 788, 537	41.6	5, 700, 301		4, 481, 500	41.8
物件費	2, 141, 575	13. 1	1, 468, 892		1, 282, 547	12. 0
維持補修費	133, 454	0.8	125, 555		125, 555	1. 2
補助費等	1, 865, 546	11.4	1, 761, 065		1, 651, 684	15. 4
うち一部事務組合負担金	1, 307, 042	8.0	1, 307, 042		1, 307, 042	12. 2
繰出金	2, 104, 357	12. 9	1, 923, 440		1, 421, 714	13. 3
積立金	531, 605	3. 3	421, 349		-	-
投資・出資金・貸付金	12, 000	0.1	-		-	-
前年度繰上充用金	-	-	-			
投資的経費計	1, 424, 042	8. 7	668, 196			
うち人件費	61, 429	0.4	61, 429			
普通建設事業費	1, 048, 853	6.4	341, 582			
カ うち補助	629, 903	3. 9	57, 897			
内 うち単独	410, 135	2. 5	282, 470			
訳が実施を表現しています。	375, 189	2. 3	326, 614			
失業対策事業費	-	-	-			
歳出合計	16, 333, 232	100.0	11, 792, 401			

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

								_
会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考	
1 一般会計	17,283	16,319	965	798	-	14,238		
2 公共用地先行取得事業特別会計	14	14	-	-	14	83		
3 住宅資金等貸付事業特別会計	7	7	0	0	1	25		
4								
5								
6								1
7								
8								1
9								1
10								1
11								1
12								1
13								1
14								1
15								1
16								実質赤
+ 一般会計等(純計)	17,290	16,325	965	798		14,347		

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

公宮近来芸計寺の財政状況(単位: 日力) 会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険特別会計	5,991	5,819	171	171	355	-	-		
2 介護保険特別会計(介護保険事業勘定)	2,450	2,442	8	8	482	-	-		
3 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	12	11	1	1	-	-	-		
4 後期高齢者医療特別会計	374	373	1	1	103	-	-		
5 水道事業会計	1,000	976	24	1,057	11	4,832	14	-	法適用企業
6 公共下水道事業特別会計	1,512	1,511	1	1	546	7,604	5,657	-	法非適用企業
7 農業集落排水事業特別会計	99	99	0	0	42	1,172	552	-	法非適用企業
8 下館・結城都市計画事業結城南部第一土地区園整理事業特別会計	36	36	-	86	32	66	66	-	法非適(宅造)
9 下館·結城都市計画事業結城南部第二土地区園整理事業特別会計	371	371	1	22	244	1,134	245	-	法非適(宅造)
10 下館·結城都市計画事業結城南部第三土地区園整理事業特別会計	169	167	2	150	126	448	73	-	法非適(宅造)
11 下館·結城都市計画事業結城南部第四土地区園整理事業特別会計	204	203	1	-	150	736	489	-	法非適(宅造)
12									
13									
14									
15									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									ò
計 公営企業会計等				1,497		15,991	7,096		

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

実質公債費比率 ((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100

(単年度)

(3ヵ年平均)

14.2

16.1

14.5

	一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1	筑西広域市町村圏事務組合C一般会計)	6,337	6,130	206	206	-	7,038	1,723	
2	筑西広城市町村圏事務組合(第四番の名さと市町村圏特別会計)	11	8	4	4	4	-	-	
3	茨城県市町村総合事務組合[二般会計)	31,689	31,664	25	25	28	-	-	
4	茨城県市町村総合事務組合 (駅 民交通災害共済事業特別会計)	237	236	1	1	43	-	-	
5	茨城租税債権管理機構	563	293	270	270	-	1	-	
6	茨城県後期高齢者医療広域連合CH般会計)	926	910	16	16	-	-	_	
7	茨城県後期高齢者医療広域連合[後 期高齢者医療特別会計)	252,763	252,038	725	725	2,275	-	-	
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
ät	一部事務組合等				1,246		7,038	1,723	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名

経常損益 純資産又は 正味財産

からの 補助金

平成23年度

平成21年度 平成22年度 平成23年度 分母比

266,913

31,027

665,398

5,657,314

551,926

488,661

244,557

153,751

0.3

63.0

5.4 2.7

1.7

295,097

41,474

658,688

5,507,266

579,383

544,838

394,268

193,758

1,820,379 1,487,735

377,383

783,688

5,346,108

546,814

551,176

423,186

161,473

1,610,072

茨城県結城市

		結城市文化・スポーツ振興事業団 結城市土地開発公社	▲ 22	346 324	261 5	223	-	1,297	-	-					
3		TMO結城	0	17	5			-	-	-					
4	Ť														
5	Ť														
3															
7	1														
3	4														
0	+														
1	+														
2	+														
3	Ť														
4	T														
5															
6	1														
7	+														
9	+														
0	+														
21	+														
2	Ť														
23															
4	I														
25	4														
26	+														
27	+														
19	+														
80	†														
81	Ť														
32	j														
13	Ţ														
4	4														
15	+														
36 37	+														
18	+														
19	+														
10	Ť														
11	Ī														
12	I														
13	1														
14	+														
15 16	+														
17	+														
18	+														
19	Ť														
ю	T														
51	Ι														
2	1														
13	4														
i4 i5	+														
6	+														
7	+														
18	\dagger														
69	Ť														
10	I														
31	1														
2	4														
3	+														
5	+														
16	+														
7	$^{+}$														
8	†														
9	I														
o	Ţ														
1	4														
2	+														
3	+														
5	+														
6	$^{+}$														
7	\dagger														
8	Ť														
9	J														
0	I														
1	Ţ														
82 82 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8															
	# 地方公社・第三セクター等 271 225 - 1,297														
_		大八世団体が①050円上山海1 マ・・フ	※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。 ※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、〇印を付与している。												

	责費負担の状況 実質公債費比率 (-	F円·%)				将来負担の						45	并来負担比率	(-	千円・%	%)	
	区分		平成22年度	平成23年度	分母比		区	分		平成21年度	平成22年度	· ·	分母比			内訳	3
元뒦	间償還金	1,612,153	1,662,190	1,604,550	17.9	将来負担額	種 一般会計等に係	系る地方債の現在高		14,369,137	14,677,042	14,346,715	159.8		PFI事	業に係るもの	
	減債基金積立不足算定額	_	-	-	-		債務負担行為(に基づく支出予定額		1,161,071	995,259	963,338	10.7		いわは	⊅る五省協定等に係るもの	
準	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	6,667	6,667	6,667	0.1		公営企業債等網	桑入見込額		7,028,757	7,219,513	7,096,209	79.1		国営土	土地改良事業に係るもの	
元利	公営企業債の元利償還金口対する繰入金	1,019,202	1,054,738	1,018,433	11.3		組合等負担等身	見込額		2,272,531	2,007,773	1,722,646	19.2	债	森林絲	総合研究所等が行う事業に係るもの	
償	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	335,150	331,171	310,434	3.5		退職手当負担身	見込額		4,058,055	3,930,553	3,749,301	41.8	粉負	地方公	公務員等共済組合に係るもの	
遠金	債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	39,639	37,615	35,806	0.4		設立法人等の負	負債額等負担見込額	Į	1,610,072	1,820,379	1,487,735	16.6	担	依頼土	土地の買い戻しに係るもの	
312	一時借入金の利子	-	-	-	-		連結実質赤字額	Ą		-	-	-	-	行為	社会福	冨祉法人の施設建設費に係るもの	
	合計 (A)	3,012,811	3,092,381	2,975,890			組合等連結実質	質赤字額負担見込額	Į	-	-	-	-	נייני	損失補	輔償・債務保証の履行に係るもの	
	内訳	平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比		合計		(E)	30,499,623	30,650,519	29,365,944			引き受	とけた債務の履行に係るもの	
	PFI事業に係るもの	-	-	-	-	充当可能	充当可能基金			2,944,892	3,705,063	3,934,274	43.8		その他	也上記に準ずるもの	
	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	財源等	充当可能特定前	 表入		2,631,915	2,586,004	2,524,453	28.1			公共下水道事業特別会計	
债	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	17,442	37,615	35,806	0.4		基準財政需要額	領算入見込額		15,094,516	15,329,712	15,302,186	170.5			農業集落排水事業特別会計	
務	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-		合計		(F)	20,671,323	21,620,779	21,760,913		企 類 級 和	≹債等 見込額	下館·結城都市計画事業結城南部第四土地区画整理事業特別的	ŧ#+
負担	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-	将来負担出	:率((E)-(F))/((C)-(D)) × 100		111.5	99.7	84.7		11/4/	76 AL 115	下館·結城都市計画事業結城南部第二土地区画整理事業特別的	ŧ#†
	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-											その他の会計	
為	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-											地方道路公社に係る将来負担額	
	その他上記に準ずるもの	22,197	-	-	-	侵	建全化判断比率	平成23年度	早期健全	化基準 財	政再生基準				さ社・ セク等	土地開発公社に係る将来負担額	
	利子補給に係るもの	-	-	-	-	実質	貫赤字比率	-		13.27	20.00			_	- > 4	その他第三セクター等に係る将来負担額	
特定	E財源の額 (B	354,719	347,484	377,814		連組	吉実質赤字比率	-		18.27	30.00					·	
標準	制政規模 (C	10,212,536	10,490,654	10,420,172		実質	質公債費比率	13.8		25.0	35.0						
算ノ	へ公債費等の額 (D	1,404,613	1,436,377	1,444,185		将3	来 負担比率	84.7		350.0							
i	(C)-(D	8,807,923	9,054,277	8,975,987		1											

12.9

(3)市町村財政比較分析表(普诵会計決算)

平成23年度

茨城県結城市

63.6



● 当該団体値 ◆ 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値

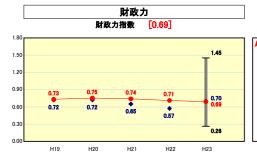
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



着似团体内槽位 全国平均 支減県平均 19/40 0.72

長引く景気低迷による個人・法人関係の減収のため平成20年度から3年連 続して低下傾向にあり、平成23年度決算において対前年度比0.02ポイント低 下し, 類似団体平均を下回っているため, 今後も投資的経費の抑制や民間 委託・指定管理者制度の導入等による歳出の徹底的な見直しに取り組む。



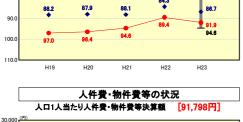
類似団体内順位 全国平均 **麦城県平均** 37/40

類似団体内順位

75.627

126,868

市税の増収以上に普通交付税及び臨時財政対策債が減ったため、経常-般財源が減少し対前年度比で2.5ポイント悪化し、依然として類似団体平均 値を上回っている。今後においては、東日本大震災の影響により市税の減 収が見込まれるほか生活保護受給者の増加等に伴う扶助費の増加など、比 率を悪化させる要因が見込まれている。対応策としては、行政改革による組 織・機構の見直しや、行政評価制度による事務事業の効率化を図ることで財 政健全化に努める。





全国及び茨城県の平均値を下回っており、類似団体内でもほぼ最低に近 い。その事由としては人件費を要因とするところが大きく、少ない職員数で事 務を効率的に行うことにより人件費の抑制を図っている。物件費についても、 行政改革を進めることにより管理事務経費の縮減を図るものとし、今後策定 予定の「第4次行政改革大綱」においても継続して数値の抑制に努める。

菱城県平均

111,889

全国平均

119,477



類似団体内順位 全国平均 **麦城県平均** 25/40 69.2

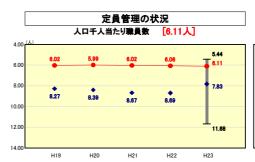
財政調整基金の等の積立による充当可能基金の増額、筑西広域市町村 圏事務組合への組合等負担等見込額の減により、15.0ポイントの改善がみ られたが、類似団体平均を大きく上回った。今後も、大規模事業を必要最小 限にとどめ、歳出削減に努めるとともに、地方債発行の抑制により、財政健 全化に努める。



類似团体内層位 全国平均 支減果平均 29/40

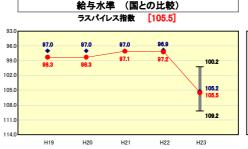
を置公債費比率の分析権

前年度に比べて1.3ポイント低下したが、依然として類似団体平均を上回っ ている。平成19年度を計画初年度として策定した公債費負担適正化計画に 基づき, 地方債残高は計画的に減少しており, 今後も新規発行額の上限枠 設定などにより上昇を抑え、類似団体平均値に近づけるように努める。



類似団体内順位 全国平均 **麦城県平均**

近年, 退職者数に対して採用人員数を抑制してきた結果, 全国及び茨城県 平均と比較しても職員数は少ない状況であり、類似団体内でも平均を大きく 下回る。平成17年策定の「結城市行政改革集中改革プラン」に基づいて人員 削減を進め、平成17年4月1日の職員総数408人から平成22年4月1日の職員 数を374人とし、平成21年度の計画終期において34名の削減により目標を達 成した。今後も、同プランの目標値を維持しつつ適正な定員管理に努める。



類似団体内順位 全国市平均 全国町村平均 106.9

平成17年人事院勧告による給与構造改革に基づき, 平成18年度から職 務・職責や勤務実績に応じた給料表への切替えを実施し、従来の年功的な 給与上昇要因の強い給料表からの見直しを行った。それ以降ラスパイレス 指数は減少傾向にあり、平成23年度においては国家公務員の給与削減措 置のため100を越えはしたものの、全国市平均を下回り類似団体の平均値と もほぼ同じ値である。今後も、人事評価システムの構築検討を進めることで 職員の勤務実績が適切に反映される昇給制度の導入を図り、給与水準の適 正化を進める。

60 000

90,000

120 000

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

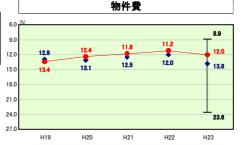
茨城県結城市

経常収支比率の分析

51,732 人(H24.3.31現在) 質 赤 宇 比 率 65.84 km² 結実質赤字比率 96 総 17. 299. 382 千円 蒙 λ 13.8 % 質 公 債 費 比 率 出 総 16, 333, 232 千円 来負担 比 率 84.7 % 実 -収 798.101 千円 H19 I-O H20 I-O H21 II — O 10,420,172 千円 H22 II — O H23 II — O 16, 372, 034 千円

当該団体値 ◆ 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値

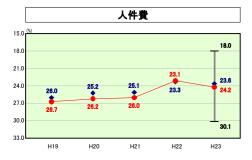
※ 市町村類型とは、人口および産業権造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似団体内順位 全国平均 茨城県平均 15/40 13 1 13.1

物件費の分析機

類似団体平均を下回っているが、電算システム関連賃借料の増 加や予防接種委託料の増加があったため前年度比で0.8ポイント上 昇した。今後も単独事業等の縮減や、行政改革の推進により委託 事業等を見直し比率の悪化を招かぬよう経費削減を図っていく。



類似团体内層位 全国平均 21/40 27.2

人件費の分析機

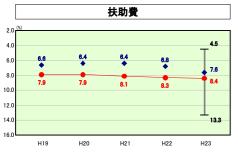
平成23年度においては、類似団体平均を上回りはしたものの全 国及び茨城県の平均値は下回った。職員数については「結城市行 政改革集中改革プラン」に基づいて人員削減を進め、平成21年度 の計画終期において目標を達成したところであり、人口千人当たり の職員数を類似団体内で比較してもかなり少ない状況である。目 標値であった現水準を維持しつつ、今後策定予定の「第4次行政改 革大綱」においても組織・機構の見直し、民間委託等の推進、非常 勤職員の適正配置、情報化の推進等を進めて業務の効率化を図り



31/40 補助費等の分析機

前年度と比べて市税過年度分過誤納還付金の支払いが増加した ため、比率は0.3ポイント上昇したが、今後も横ばいの見込みである。 また, 類似団体平均を上回っている要因としては, 一部事務組合に おける元利償還金等に対する分賦金が多額であることが考えられ るため、今後も一部事務組合の運営にも注視していく。

全国平均



類似団体内順位 全国平均 10.5

技助者の分析機

扶助費に係る経常収支比率が類似団体平均と比較して高く、か つ上昇傾向にあるのは、生活保護費の額が急激に膨らんでいるこ となどが要因であると考えられる。今後も、国の制度改正等に適切 に対応するとともに、資格審査等の適正化を進め適正な執行に努 めていく。



類似団体内順位 全国平均 支城県平均

その他の分析機

類似团体内層位

35/40

その他の比率は前年度比で0.3ポイント減少したが、依然として類 似団体平均値を上回っている。国民健康保険事業会計,介護保険 会計に対する繰出金が増加していることが要因である。今後とも、 国民健康保険税や介護保険料の適正化を図り安易な繰出しを抑制 し普通会計の負担を減らしていくよう努める。

13.9

菱城県平均

71.8



類似团体内層位 **菱城県平均** 20/40 19.0

公債費の分析機

今年度は18年度に実施した学校給食センター建設事業に係る地 方債の満期一括償還があったため、類似団体の平均値を上回って いる。今後については、起債償還額がピークを過ぎたため徐々に改 善するが、平成19年度に策定した公債費負担適正化計画に基づき、 引き続き地方債の新規発行の抑制を図り、指数の上昇を招かぬよ うに努める。

155

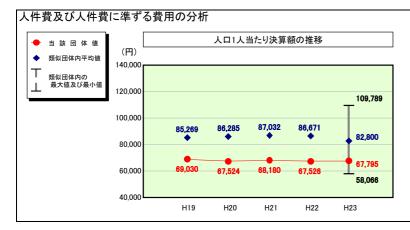


公債費以外の経常収支比率は類似団体平均値と比較して経常的 に高いが、他団体と比べて特別会計への繰出金が多額であることが要因としてあげられ、前年度比で2.0ポイント上昇した。特に土地 区画整理事業や下水道事業に対する繰出金は、実質公債費比率 の上昇にもつながっていくので、今後とも安易な繰出しを抑制し、事 業計画の点検と適正化に努める。

全国平均

71.3

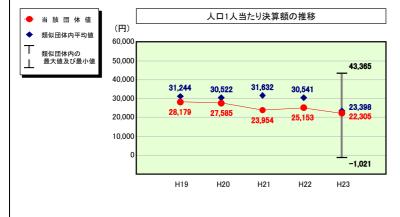
(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)



人件費及び人件費に準ずる費用 当該団体決算額 人口1人当たり決算額 (千円) 当該団体(円) 類似団体平均(円) 対比(%) 人件費 53, 576 2, 771, 610 70, 753 **▲** 24.3 賃金 (物件費) 120 901 2 337 5 967 **▲** 60 8 一部事務組合負担金 (補助費等) 614, 878 11, 886 8, 918 33. 3 公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等) 1, 227 公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金) 公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金) 事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費) 297, 540 2, 683 114.4 1, 391 **A** 8, 138 61, 429 1, 187 **▲** 14.7 ▲退職金 **▲** 359, 188 **▲** 6, 943 67, 795 **▲** 14.7 合計 3, 507, 170 82, 800 **▲** 18.1

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6. 11	7. 83	▲ 1.72
ラスパイレス指数	105. 5	105. 2	0. 3
<u> </u>			

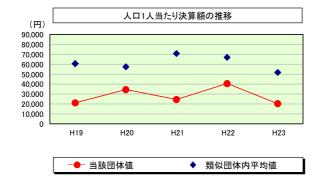
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



	当該団体決算額		人口1人当たり決算	.額
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額	1, 604, 550	31, 017	46, 680	▲ 33.6
(繰上償還額等を除く) 積立不足額を考慮して算定した額			-	
1	6, 667	129	60	115. (
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1, 018, 433	19, 687	14, 240	38. 3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	310, 434	6, 001	3, 704	62. 0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	35, 806	692	1, 956	▲ 64. 6
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	4	-
▲特定財源の額	▲ 377, 814	▲ 7, 303	▲ 4, 725	54. (
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	1 , 444, 185	▲ 27, 917	▲ 38,520	▲ 27. !
合計	1, 153, 891	22, 305	23, 398	4 .

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



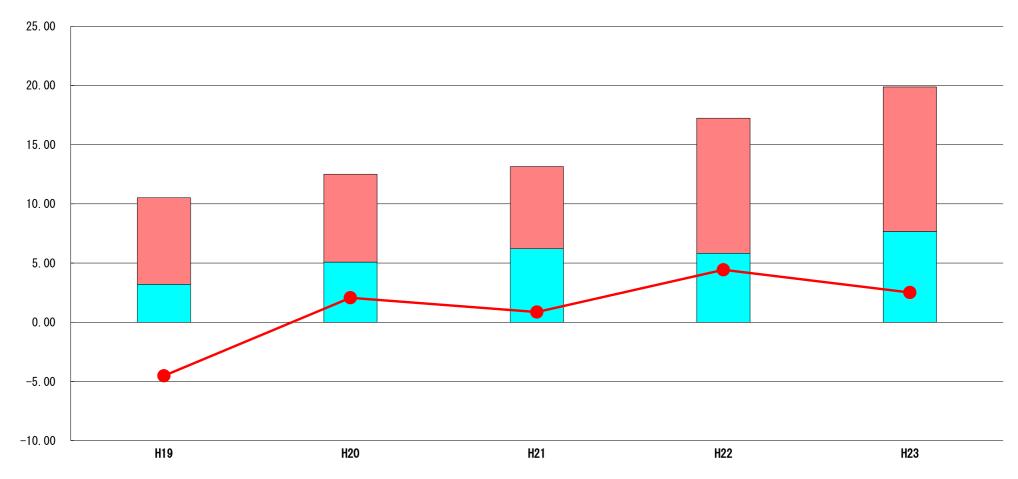
普通建設事業費							
		当該団体決算額		人	口1人当たり決算	額	
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)
H19		1, 102, 067	21, 056	▲ 48. 2	60, 510	6. 6	▲ 54.8
	うち単独分	566, 492	10, 824	▲ 50.2	33, 757	▲ 1.8	▲ 48.4
H20		1, 802, 335	34, 410	63. 4	57, 376	▲ 5. 2	68. 6
	うち単独分	1, 162, 787	22, 200	105. 1	32, 650	▲ 3.3	108. 4
H21		1, 281, 151	24, 483	▲ 28.8	70, 789	23. 4	▲ 52. 2
	うち単独分	527, 026	10, 072	▲ 54.6	40, 880	25. 2	▲ 79.8
H22		2, 108, 420	40, 529	65. 5	66, 876	▲ 5.5	71. 0
	うち単独分	1, 108, 111	21, 301	111. 5	36, 310	▲ 11.2	122. 7
H23		1, 048, 853	20, 275	▲ 50.0	51, 704	▲ 22. 7	▲ 27.3
	うち単独分	410, 135	7, 928	▲ 62.8	26, 896	▲ 25.9	▲ 36.9
過去5年間平均		1, 468, 565	28, 151	0.4	61, 451	▲ 0.7	1. 1
	うち単独分	754, 910	14, 465	9. 8	34, 099	▲ 3.4	13. 2

(5) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成23年度

茨城県結城市

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

区分 年度	H19	H20	H21	H22	H23
財政調整基金残高	7. 31	7. 41	6. 93	11. 41	12. 21
実質収支額	3. 21	5. 09	6. 22	5. 83	7. 66
—— 実質単年度収支	▲ 4. 52	2. 07	0. 86	4. 43	2. 52

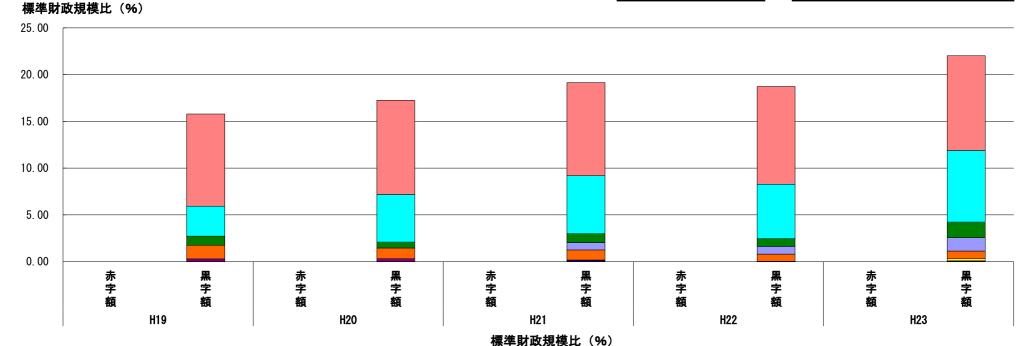
分析欄

前年度まで実施していた国の交付金事業が終了したことにより、 決算規模は横ばいとなった。基金積立額は例年より減少したが確 実に基金積立を行っているため基金残高の比率が伸びた。標準財 政規模に対する実質収支額(黒字額)の比率については、前年度 比1.83ポイント増の7.66%となった。これは一般会計の実質収支 額が前年度決算の611百万円に対し187百万円増の798百万円と なったこと、及び臨時財政対策債発行可能額の減等により標準財

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

平成23年度

茨城県結城市



					17K-1-141 14V-17U	XXX
会計	年度	H19	H20	H21	H22	H23
	水道事業会計	9. 86	10. 06	9. 94	10. 45	10. 14
	一般会計	3. 21	5. 09	6. 22	5. 83	7. 66
	国民健康保険特別会計	0. 98	0. 63	0. 96	0. 82	1. 65
	下館・結城都市計画事業結城南部第三土地区 画整理事業特別会計	0. 00	0. 00	0. 77	0. 82	1. 44
	下館・結城都市計画事業結城南部第一土地区 画整理事業特別会計	1. 45	1. 14	1. 08	0. 77	0. 83
	下館・結城都市計画事業結城南部第二土地区 画整理事業特別会計	0.00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 21
	介護保険特別会計(介護保険事業勘定)	0. 29	0. 32	0. 06	0. 02	0. 07
	介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 01
	その他会計(赤字)	-	-	-	-	-
	その他会計(黒字)	0. 01	0. 01	0. 12	0. 02	0. 02

分析欄

実質赤字比率同様、平成22年度に引き続き平成23年度決算においても、実質収支が赤字の会計及び資金不足が生じた会計はなかったため、連結実質赤字比率は算定されなかった。

標準財政規模に対する実質収支額(黒字額)と資金剰余額の合計の比率については、一般会計の実質収支が約187百万円の増となったため、比率は1.83ポイント増加した。また一方で、水道事業会計の資金剰余額が減少したため比率が前年度から0.31ポイント減少した。

国民健康保険特別会計については実質収支が85百万円の増のため、0.83ポイント増加した。南部第三土地区画整理事業特別会計の資金剰余額が64百万円の増となっており0.62ポイントの増加となっている。

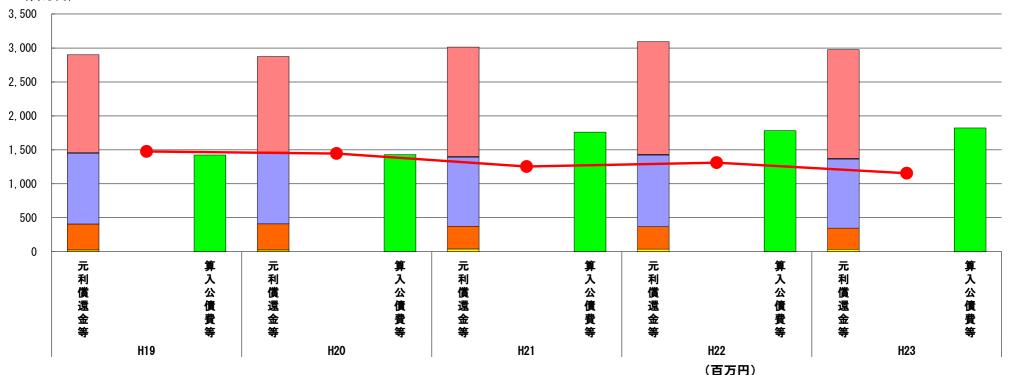
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

平成23年度

茨城県結城市





						(H/J13/
分子の構造	年度	H19	H20	H21	H22	H23
	元利償還金	1, 443	1, 408	1, 612	1, 662	1, 605
	減債基金積立不足算定額	-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	7	7	7	7	7
元利償還金等(A)	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	1, 042	1, 050	1, 019	1, 055	1, 018
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	381	384	335	331	310
	債務負担行為に基づく支出額	26	25	40	38	36
	一時借入金の利子	-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等	1, 423	1, 429	1, 760	1, 783	1, 822
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	1, 476	1, 445	1, 253	1, 310	1, 154

分析欄

平成23単年度の実質公債費比率は, 平成22 単年度の比率に対して約1.6ポイント減少して いる。

単年度の比率が平成22単年度の実質公債費 比率と比較して減少している要因としては、 元利償還金の額が58百万円減少したことが大 きい。これは前年度までの給食センター施設 整備事業に係る償還が終了したことによる。

また公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金が36百万円減少しているため、また災害復旧費等に係る基準財政需要額が35百万円増加したことにより比率が減少した。

[※]平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

[※]平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

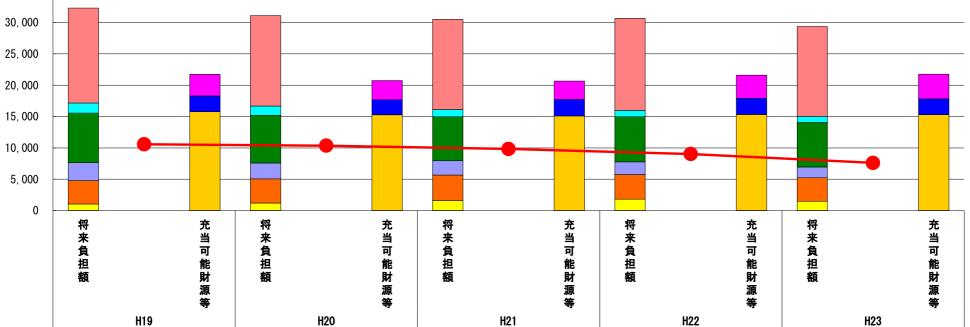
[※]平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

平成23年度

茨城県結城市

(百万円) 35,000 30,000 25.000



(百	万	円)
١,		//	ı j	,

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額(A)		一般会計等に係る地方債の現在高	15, 149	14, 433	14, 369	14, 677	14, 347
		債務負担行為に基づく支出予定額	1, 621	1, 483	1, 161	995	963
		公営企業債等繰入見込額	7, 915	7, 597	7, 029	7, 220	7, 096
		組合等負担等見込額	2, 860	2, 548	2, 273	2, 008	1, 723
		退職手当負担見込額	3, 722	3, 849	4, 058	3, 931	3, 749
		設立法人等の負債額等負担見込額	1, 057	1, 201	1, 610	1, 820	1, 488
		連結実質赤字額	-	-	-	-	-
		組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-
充当可能財源等(B)		充当可能基金	3, 454	3, 064	2, 945	3, 705	3, 934
		充当可能特定歳入	2, 512	2, 417	2, 632	2, 586	2, 524
		基準財政需要額算入見込額	15, 784	15, 270	15, 095	15, 330	15, 302
(A) — (B)	-	将来負担比率の分子	10, 575	10, 360	9, 828	9, 030	7, 605

分析欄

平成23年度決算では、平成22年度の99.7%に対 し15.0ポイント減の84.7%となった。

将来負担額の各位算定項目における主な増減 と影響として、地方債の現在高が330百万円減っ たことにより2ポイントの減となった。

また組合等負担等見込額において、筑西広域 市町村圏事務組合の地方債現在高の減により285 百万円の減により3ポイントの減となっている。

将来負担額から差し引く充当可能財源等にお いては、充当可能基金について財政調整基金等 の積み増しに伴う基金現在高の増により229百万 円の増のため3ポイントの比率の減少がみられ た。

[※]平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。